

研究助成等

職名	氏名	補助金(研究助成)等の名称	種目	研究課題等	交付金額(千円)
教授	末崎 幸生	平成14年度文部科学省科学研究費補助金	基盤研究(C)(2)	脂質膜の形状相転移の理論的研究(代表)	1,000

医療教育学

著書

- 1 池田裕次, 酒見隆信: 急性腎疾患について. 瀧 健治, 西村謙一, 十時忠秀 編: 救急医学 120-124. 新興医学出版社. 東京 2002.

学術論文

- 1 Haraguchi S, Tomiyoshi Y, Aoki S, Sakemi T: Nephrotic syndrome due to immunologically mediated hypocomplementemic glomerulonephritis in a patient of Waldenstrom's macroglobulinemia. *Nephron* 92: 452-455, 2002.
- 2 針貝邦生: タントラヴァールルッティカ聖伝章和訳研究(2). 西日本宗教学雑誌 第24号 (2002) pp. 80-95.
- 3 藤崎大整, 井手紀子, 西本 愛, 三根 誠, 池田裕次, 酒見隆信: 偽性高クレアチニン血症の1例. 腎と透析 52: 673-675, 2002.
- 4 藤崎大整, 三根 誠, 井手紀子, 西本 愛, 緒方明貴, 長嶋昭憲, 池田裕次, 酒見隆信: エンドトキシン吸着療法 (PMX) における白血球の変化と臨床効果の検討. ICUとCCU26別冊号: S235-S237, 2002.
- 5 藤崎大整, 沼田晃彦, 西本 愛, 松石英城, 松本順二, 宮本祐一, 酒見隆信: 血漿交換とステロイドの併用が有効であったと思われた血栓性血小板減少性紫斑病の1例. 臨床透析 18: 107-110, 2002.
- 6 西本 愛, 井手紀子, 池田裕次, 冨吉義幸, 酒見隆信, 力武 修: CAPDの経過中にAA-アミロイドーシスを認め, サイトメガロウイルス腸炎を発症し治療に苦慮した1例. 腎と透析 52: 343-345, 2002.
- 7 Ikeda Y, Sakemi T, Matsuzaki M, Sano M: Acute myelogenous leukemia following treatment with cyclosporine A in a nephrotic patient. *Internal Medicine* 41: 722-724, 2002.
- 8 Sakemi T, Ikeda Y, Mine M, Tomiyoshi Y: Attenuating effect of soy protein as compared with casein on glomerular injury in spontaneous hypercholesterolemic male Imai rats. *Nephrology* 7: 130-135, 2002.
- 9 Sakemi T, Ikeda Y, Shimazu K: Effect of soy protein added to casein diet on the development of glomerular injury in spontaneous hypercholesterolemic male Imai rats. *Am J Nephrol* 22: 548-554, 2002.
- 10 Shimazu K, Tomiyoshi Y, Aoki S, Sakemi T, Sugihara H: Crescentic glomerulonephritis in a patient with heterozygous Fabry's disease. *Nephron* 92: 456-458, 2002.
- 11 冨吉義幸, 池上聡子, 加藤 明, 田中 彩, 柴田貴章, 池田裕次, 酒見隆信: 腎静脈血栓症および

多発性肺梗塞を合併し一時的な大静脈フィルターを留置したネフローゼ症候群の1例。腎と透析 52: 827-830, 2002.

- 12 Tomiyoshi Y, Sakemi T, Aoki S, Miyazono M: Different effects of castration and estrogen administration on glomerular injury in spontaneously hyperglycemic Otsuka Long-Evans Tokushima Fatty (OLETF) rats. Nephron 92: 860-867, 2002.
- 13 富吉義幸, 柴田貴章, 西村和重, 大塚容子, 池田裕次, 酒見隆信, 長澤浩平: 全身性エリテマトーデスの経過中に, 消化器症状を主訴に発見されたループス膀胱炎の1例。腎と透析 53: 119-122, 2002.

学会発表

- 1 藤崎大整, 三根 誠, 井手紀子, 西本 愛, 長嶋昭憲, 池田裕次, 酒見隆信: PMX施行時の白血球・単球の変化と臨床効果に関する検討。第45回日本腎臓学会総会。2002, 5, 23-25. 大阪国際会議場。
- 2 藤崎大整, 三根 誠, 井手紀子, 西本 愛, 長嶋昭憲, 池田裕次, 酒見隆信: エンドトキシン吸着療法 (PMX) 施行時における単球に関する検討。第47回日本透析医学会。2002, 7, 19-21. 国際館パミール。
- 3 藤崎大整, 三根 誠, 井手紀子, 西本 愛, 緒方明貴, 長嶋昭憲, 池田裕次, 酒見隆信: エンドトキシン吸着療法 (PMX) における白血球の変化と臨床効果の検討。第13回日本急性血液浄化学会学術集会。2002, 9, 26. 京王プラザホテル。
- 4 井手紀子, 池田裕次, 西本 愛, 藤崎大整, 三根 誠, 酒見隆信: 特発性血小板減少性紫斑病 (ITP) と膜性腎症 (MN) を合併した3例。第45回日本腎臓学会総会。2002, 5, 23-25. 大阪国際会議場。
- 5 井手紀子, 池田裕次, 西本 愛, 藤崎大整, 三根 誠, 酒見隆信, 力武 修: CTにて確信された透析患者の腸管壊死の一例。第47回日本透析医学会。2002, 7, 19-21. 国際館パミール。
- 6 池田裕次, 井手紀子, 西本 愛, 藤崎大整, 三根 誠, 酒見隆信: 本院における中高年齢者の原発性ネフローゼ症候群の検討。第45回日本腎臓学会総会。2002, 5, 23-25. 大阪国際会議場。
- 7 池田裕次, 井手紀子, 西本 愛, 藤崎大整, 三根 誠, 酒見隆信: 持続血液透析濾過における血液部分再循環法の有用性の検討 (第2報)。第47回日本透析医学会。2002, 7, 19-21. 国際館パミール。
- 8 三根 誠, 飯盛 桜, 井手紀子, 西本 愛, 藤崎大整, 池田裕次, 酒見隆信, 三浦由宏, 桑原守正: アナフィラクトイド紫斑病からサルモネラ菌敗血症そして多臓器不全と発展した1透析例。第47回日本透析医学会。2002, 7, 19-21. 国際館パミール。
- 9 三根 誠, 池田裕次, 井手紀子, 西本 愛, 藤崎大整, 酒見隆信, 富吉義幸: IgA腎症患者に対するステロイド療法単独療法群と扁桃腺摘出+ステロイド療法群との尿蛋白減少効果の比較検討。第45回日本腎臓学会総会。2002, 5, 23-25. 大阪国際会議場。
- 10 西本 愛, 井手紀子, 藤崎大整, 三根 誠, 池田裕次, 酒見隆信: 当科で経験した急速進行性糸球体腎炎の臨床的検討。第45回日本腎臓学会総会。2002, 5, 23-25. 大阪国際会議場。
- 11 富吉義幸, 石川智恵, 松本 順, 西本 愛, 池田裕次, 酒見隆信: 細胞増殖型巣状糸球体硬化症の初発及び再発時に LDL apheresis を施行した1例。第47回日本透析医学会。2002, 7, 19-21. 高輪プリンス。

研究助成等

職名	氏名	補助金(研究助成)等の名称	種目	研究課題等	交付金額 (千円)
助教授	針貝 邦生	平成14年度文部科学省科学研究費補助金	基盤研究(C)	タントラヴァールルッティカ聖伝章の研究	700

病態予防医学

著書

- 1 木本雅夫, 阪口薫雄, 山下優毅: 免疫学コア講義. 南山堂. 東京 2002.
- 2 Ohta S, Fred G. Barker II and Mark A. Israel Brain Tumors: Epidemiology and Molecular and Cellular Abnormalities. Encyclopedia of Cancer, Second Edition, Volume 1, 279-286. Elsevier Science, New York, 2002.

学術論文

- 1 ° Kikuchi Y, Koarada S, Tada Y, Ushiyama O, Morito F, Suzuki N, Ohta A, Miyake K, Kimoto M, Horiuchi T, Nagasawa K.: RP105-lacking B cells from lupus patients are responsible for the production of immunoglobulins and autoantibodies. Arthritis Rheum 46(12): 3259-3265, 2002.
- 2 * Nagai Y, Akashi S, Nagafuku M, Ogata M, Iwakura Y, Akira S, Kitamura T, Kosugi A, Kimoto M, Miyake K.: Essential role of MD-2 in LPS responsiveness and TLR4 distribution. Nat Immunol. 7: 667-672, 2002.
- 3 * Nagai Y, Shimazu R, Ogata H, Akashi S, Sudo K, Yamasaki H, Hayashi S, Iwakura Y, Kimoto M, Miyake K.: Requirement for MD-1 in cell surface expression of RP105/CD180 and B-cell responsiveness to lipopolysaccharide. Blood. 99: 1699-1705, 2002.

学会発表

- 1 木本雅夫: 病原体認識分子の構造と機能. 第26回蛋白質と酵素の構造と機能に関する九州シンポジウム. 2002, 7, 18. 講演プログラム.
- 2 *楠本 豊, 緒方明貴, 菊池たかね, 古田隆久, 赤司祥子, 長井良憲, 今野和典, 星野克明, 改正恒康, 審良静男, 木本雅夫, 三宅健介: 抗マウス TLR9モノクローナル抗体の樹立. 第32回日本免疫学会総会. 2002, 12, 5. 日免疫総会誌 32: 29.
- 3 * Miyake K, Nagai Y, Akashi S, Kosugi A, Nagafuku M, Kimoto M.: Roles for MD-2 in Lipopolysaccharide Responses 2002年度 Keystone Symposium 2002, 3, 5.
- 4 *長井良憲, 赤司祥子, 小林真紀子, 木本雅夫, 三宅健介: RP105の発現制御と新たな RP105会合分子の検索. 第32回日本免疫学会総会. 2002, 12, 4. 日免疫総会誌 32: 9.
- 5 常吉直子, 福留健司, 木本雅夫: 血管内皮プロテインCレセプター (EPCR) とトロンボモジュリン (TM) の会合. 第75回生化学会大会. 2002, 10, 17. 生化学 74: 215.